



平成 22 年 11 月 10 日

各 位

会社名 株式会社 イントランス
 代表者名 代表取締役社長 麻生 正紀
 (コード番号 3237 東証マザーズ)
 問合せ先 取締役管理部門管掌 濱谷 雄二
 兼経理・総務部部長
 (TEL 03-6803-8100)

平成 23 年 3 月期第 2 四半期累計期間業績予想との差異 及び通期業績予想の修正に関するお知らせ

平成 22 年 5 月 14 日に公表した平成 23 年 3 月期第 2 四半期累計期間業績予想との差異について、下記のとおりお知らせいたします。

また、最近の業績動向を踏まえ、通期業績予想を修正することとしましたので、お知らせいたします。

記

1. 平成 23 年 3 月期第 2 四半期(累計)個別業績予想数値との差異(平成 22 年 4 月 1 日～平成 22 年 9 月 30 日)

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	四半期純利益	1 株当たり 四半期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 600	百万円 30	百万円 0	百万円 0	円 銭 0.00
今回発表実績 (B)	173	△411	△433	△434	△3,426.47
差 額 (B-A)	△426	△441	△433	△434	
差 額 率 (%)	△71.1	—	—	—	
(ご参考) 前期第 2 四半期実績 (平成 22 年 3 月期第 2 四半期)	79	△270	△299	△318	△4,732.59

2. 平成 23 年 3 月期通期個別業績予想数値の修正(平成 22 年 4 月 1 日～平成 23 年 3 月 31 日)

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	当期純利益	1 株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 3,850	百万円 150	百万円 100	百万円 100	円 銭 738.92
今回発表予想 (B)	2,800	150	100	100	738.92
増 減 額 (B-A)	△1,050	—	—	—	
増 減 率 (%)	△27.3	—	—	—	
(ご参考) 前期実績 (平成 22 年 3 月期)	143	△352	△398	△420	△6,109.23

3. 差異及び修正の理由

当社が属する不動産業界は、政府による経済対策や低水準で推移している住宅ローン金利等の影響により住宅需要は底堅く推移しているものの、収益物件については流動性が低下した状態が続いており、厳しい経営環境が長期化しております。

このような状況下、当社は、平成22年6月24日開催の第12回定時株主総会決議及び取締役会決議により、社長交代を含む経営陣の一新を行いました。新経営陣の下、当社はまず、前事業年度より保有している販売用不動産の評価見直し、営業体制の再編成、及び投資範囲の拡大に取り組みました。また、増資により得た資金を基に、積極的な営業姿勢を打ち出し、より多くの不動産関連情報や投資情報等の入手に努めました。

これらにより、当第2四半期累計期間において、売買仲介業務等による手数料収入の増加、及び開発事業用地の取得など、新体制として幸先の良い出だしとなりました。しかし、前事業年度より保有している販売用不動産について421,459千円のたな卸資産評価損を計上することとなったため、前回発表予想との差異が生じました。

下期においては、上期において一定の成果を上げられたフィービジネスによる収益の獲得に注力することにより、通期利益予想は維持するものの、通期売上高は当初計画より減少する見込であるため、平成23年3月期通期業績予想を上記のとおり修正いたします。

(注) 上記の予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき算出しておりますので、実際の決算数値とは異なる可能性があることをご留意ください。

以 上